

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

川崎認定保育園協議会  
会長 本間 哲也

## 国政に対する現況と要望

### 1. 概要

政府が推進する一億総活躍社会において、待機児童解消の一環として保育所新設を促進されていますが、それに伴う保育士の不足が新たな問題となっています。

この問題解決として、保育士の処遇改善の方針が示されましたが、さらに保育所に就労していない潜在保育士を取り込むための施策として、保育士の待遇改善及び一人住まいの保育士への家賃補助など助成策が講じられているところです。

### 2. 現況

認可保育所に就労している保育士が、認定保育園で就労している保育士を友人・知人などの関係を通じて、認可保育所のほうが待遇がよいと勧誘する行為が行われている実態があります。

### 3. 目的の逸脱

現況での実態を認識し、早急な改善を図らなければ、待機児童の受け皿として貢献している認定保育園は深刻な影響を受けてしまいます。

すなわち保育士不足による児童受け入れ枠の縮小、または場合によっては閉園に至るおそれもあり、待機児童の問題解決策が、正反対に待機児童の増加に繋がる結果を招くことが懸念されます。

### 4. 要望

待機児童ゼロ対策として、川崎市では川崎認定保育園が認可保育所とほぼ同等の基準をもって約4,800人の児童を受け入れています。

現状における認定保育園の機能と役割を踏まえ、

- ① 認可外保育施設が認可保育所に移行しやすくなるような仕組みを含め、川崎認定保育園のような一定の基準が確保された認定保育園への支援の充実を図ること
- ② 全体的な保育士不足に緊急的に対応するため、更なる保育士の確保・処遇改善を講じること

以上を川崎認定保育園協議会は、厚生労働省に強く要望するものであります。

以上